



2024年（令和6年）3月20日

発行人／四日市市港地区自主防災組織連絡協議会 会長 加藤 亘

『港 防災だより』について

港地区には、防災を考えるうえで多種多様な問題が存在しております。（例：埋立地（地震に弱い）、海岸線（津波に弱い）、臨海コンビナートに近接、住民の高齢化）これらの問題に対処していく為に重要なことは、住民／企業／行政の相互理解とそれに基づく活動であります。そのためには、日頃、この三者が防災に対する情報を共有し、活動することが重要であり、その一助としてこの防災だよりを発行しております。

令和5年度；港地区総合防災訓練

実施日 令和5年10月29日

【参加者；179名】港地区160名・連携企業&団体；9名・海上分団；7名・危機管理課；1名・中部地区市民センター；2名

令和5年度の「港地区総合防災訓練」は10月29日に実施し、基本的なことは昨年度同様に「津波避難訓練」・「感染症対策訓練」・「避難所運営訓練」を行いました。今年度も【参加者一人一人が実働訓練】を目標にして、海上分団の方にもご協力頂き、屋外での「実演・体験訓練」を実施し参加者全員が実演学習・体験訓練が出来ました。又、避難訓練開始時の「無線連絡の訓練」では昨年同様に各自治会長から本部へ連絡したのち、**今年度は無線機を自主防災隊長が引き継ぎ本部へ連絡後、各町の避難誘導をしてなやプラザに避難しました。**特記として、**今年度は「危機管理統括部長」も見学され、訓練後は「講評」を頂きました！**
《 9月17日；リーダー養成訓練 & 12月10日；防災訓練改善検討会 実施 》

感染症対策訓練；消毒・検温・スクリーニング



ゾーニング；発熱者等のエリアへの誘導ライン



防災訓練参加者全員で実演・体験（輪番）訓練に参加！！

パーティー組み立て
エアマットの使い方
（施設班）

プロパンガスの使い方
（港第二市民防災隊）

簡易トイレの使い方
（衛生班）

三角巾の使い方
（海上分団）



防災連携企業 副会長 講評

危機管理統括部長 講評

海上分団長 講評

令和5年度；四日市市市民総ぐるみ防災訓練

四日市市立中部中学校 令和5年11月5日(日)

令和5年11月5日(日曜日)に、中部中学校に於いて「四日市市市民総ぐるみ防災訓練」が実施されました。港地区からは港地区自主防災組織連絡協議会の役員(加藤会長、豊田副会長、清原顧問、吉田顧問)・自治会長(南納屋町;伊藤会長)・防災隊長(相生町;瀬川隊長)・市民防災隊(15名)が参加しました。訓練の役割分担で、港地区は要支援者広域避難訓練となり、要支援者2名を市民防災隊が2台のリヤカーで搬送し、本部前を通り避難誘導しました。

体育館では、各地区の展示も行われ港地区は「防災だより」3年分と、「防災マニュアル」等を展示し、他に、コスモ石油株式会社様寄贈の「LEDランタン」・「エアマット」等の防災コンテナ備品も展示しました。市民防災隊の活動の紹介で、家具固定が無償で実施されているのに驚きの声があり、数人の方より「港地区に移住したい」との声もありました！

防災マニュアルでは、避難施設の事項で、避難所が開設しない場合も併記されているので感心されていました。また、【見ればわかるマニュアル】となっており、一目で理解しやすいと好評でした。

各地区可搬ポンプ一斉放水訓練では、港第二市民防災隊は日頃の訓練の成果を発揮し、一番手際良く、「放水の準備⇒放水⇒ホース収納」がスムーズに実施されました。

今回の「四日市市市民総ぐるみ訓練」を、今後の防災活動に活かしてまいります。

皆様の、より一層のご理解とご協力をお願い致します。



避難誘導訓練



港地区 展示ブース

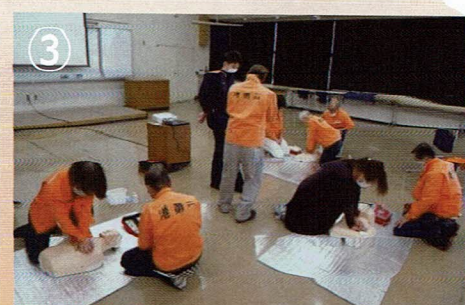
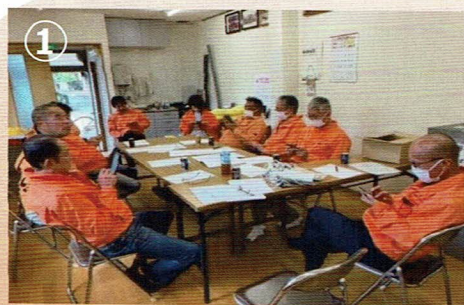


港第二市民防災隊 一斉放水訓練



港第二市民防災隊による普通救命講習の受講 —令和5年度スキルアップ訓練—

◇令和5年11月15日(日) 四日市市消防本部にて、AEDを使った普通救命講習を11名の隊員が受講しました。講習は通常3時間ですが、事前に応急手当WEB講習を受講したので当日は2時間の講習で済みました。



- ① 令和5年10月15日(日)、受講予定者(11名)が南納屋町集会所に集合し、各自のスマホを使って事前に応急手当WEB講習を受講しました。
- ② 消防本部では、まずは救命についての動画視聴からスタートし、続いて講師の方から説明を受け、普通救命の内容も少しずつ変わってきていることが分かりました。皆さん、真剣に動画と講師の説明を受けていました。
- ③ 実技講習の後半は、3つのグループに分かれて行われました。救命の手順などお互い確認しながら進めていき、最後に、気道異物の除去についての講習を受けました。

質疑応答の際は、少し冗談を交え、終始和やかな雰囲気を進めることができました。また、今回受講した殆どの隊員が過去にも受講した経験がありましたので、講師からは覚えが良いとお褒めを頂きました。普通救命の内容は少しずつ変わってきており、今後もスキルアップ訓練等に取り入れていきたいと思ひます。

今回、普通救命を学びましたが、できればこの知識を使う機会が無いことを望みます。

令和5年度;グループ別 防災訓練

3/9(土) コスモ石油 G ; 稲葉町・北納屋町
浜町一区・浜町二区



救命講習

3/16(土) 高砂建設 G ; 高砂町



防災研修

3/13(水) 日本板硝子 G ; 千歳町



日本板硝子様の備蓄品見学・G企業 アンケート

3/12(火) 九鬼産業 G ; 尾上町



防潮扉 開閉訓練

3/17(日) 住友電装 G ; 南納屋町・西末広町



津波避難訓練・安否確認
住友電装様の防災説明・備蓄品見学

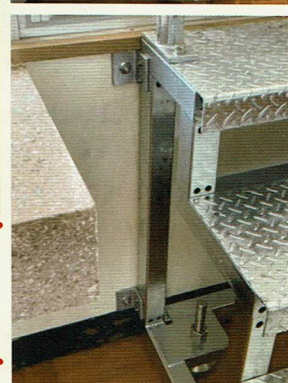
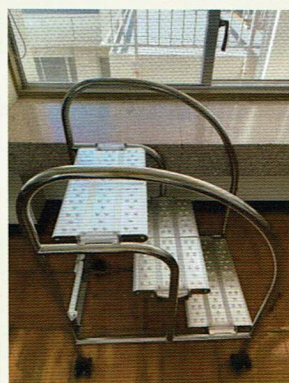
3/10(日) 四日市電機 G ; 中納屋町・蔵町・相生町



消火訓練

■各種総会・会議・研修会・説明会等について

- ◇令和5年度「港地区 総合防災訓練」【令和5年10月29日(日)】
- ◇「中部電力ミライズ；埋設導管説明会」【令和5年10月31日(火)】
- ◇令和5年度「四日市市市民総ぐるみ防災訓練」【令和5年11月5日(日)】
- ◇令和5年度「防災訓練 改善検討会」【令和5年12月10日(日)】



「非常階段」の室内側階段が
固定型になりました！

令和4年3月発行の【No33 防災だより】では、非常階段へ出る際の室内側の階段が「可動式組み立て設置型」ですが、今回は階段が【常設の固定型】に改善された報告です。改善経緯は、北納屋町の避難訓練の際に「室内階段」の体験をした結果、「組み立て・設置の手間と階段を上がる際にキャスターの為、グラグラして不安定で危険」との意見がありました。北納屋町自主防水谷隊長の指摘・提案で、「固定式にすれば安全に直ぐに避難できるので固定して欲しい！」と町田自治会長より申し出があり、港地区防災組織として即日、危機管理課に申し出て改善して頂く事となり、打ち合わせ後、完成に至りました。

■お知らせ

令和5年度も、コスモ石油株式会社四日市製油所様から、防災資機材の寄贈をご提案を頂きました。

港地区の要望として、一人でも多くの避難者に寄贈品を支給出来るようにとの事で、港地区とコスモ石油株式会社四日市製油所様との協議の結果、「ポンチョ」を420枚寄贈していただきました。

港地区のために、色々と考えて下さるコスモ石油株式会社四日市製油所様に感謝申し上げます。いつもどうもありがとうございます。



《防災運営委員会》

加藤 亘
豊田 成彦
松野 由幸
松田 裕文
清原 茂
吉田 泰宣
伊藤 浩助
長谷川 雄俊
川島 孝之
岩崎 義明

《自治会長》

倉矢 隼太
大野 正司
伊藤 庸祐
伊藤 浩助
町田 光夫
大橋 洋
三浦 恭久
松田 裕文
藤村 舞
高尾 信俊
長谷川 雄俊
寺井 勝

《防災隊長》

松下 晃平
川島 孝之
橋本 幸生
西川 進
水谷 哲
岩崎 義昭
瀬川 宏
堤 利臣
加納 広
藤村 洋平

(順不同)

《防災連携企業》

石井燃商(株) 伊勢湾倉庫(株) (株)エネックス おのえ作業所
風薫会 協同海運(株) 九鬼産業(株) 九鬼肥料工業(株)
コスモ石油(株) 佐藤クリニック 三エスゴム(株) JSR(株)
住友電装(株) 第一工業製薬(株) 大成建設(株) 大東建設(株)
太平洋セメント(株) 高砂建設(株) 中部海運(株) 中部電力ミライズ(株)
中日本建設(株) 東ソー(株) 東邦ガスネットワーク(株)
東陽興業(株) 日本板硝子(株) 日本海事検定協会 日本カニゼン(株)
日本貨物鉄道(株) 日本通運(株) 日本トランスシティ(株)
(株)ニヤクコーポレーション 林興業(株) 三菱ケミカル(株)
四日市海運(株) 四日市電機(株) 四日市港郵便局
(株)レゾナックガスプロダクツ

(五十音順)